２０２６年１１月２５日
損害保険ジャパン株式会社

三豊市との「包括連携協定」の締結について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、香川県三豊市（市長：山下 昭史）の地域課題の解決を促進し、地域の発展に寄与することを目的として、三豊市と「包括連携協定」を２０２６年１１月１２日に締結したことをお知らせします。

１．背景・経緯

三豊市は、豊かな自然と調和した産業振興や移住・定住の促進、子育て支援など、活力ある持続可能なまちづくりに積極的に取り組んでいます。

損保ジャパンは、お客さまの安心・安全・健康な暮らしを支える保険会社として、地域の産業の安定的な繁栄と安心な暮らしを支援するノウハウを生かした地方創生や地域社会への貢献に取り組んでいます。両者がそれぞれ保有する知的・人的資源を有効に活用し、同じベクトルで緊密に連携して取り組むことで、地域貢献活動との相乗効果を生み出し、三豊市民の皆様がより安心・安全・健康に暮らせる社会づくりに貢献できると考え、本協定の締結に至ったものです。



２．協定の目的

損保ジャパンと三豊市は、相互に連携・協力し、双方が保有する知的・人的資源を有効に活用することにより、三豊市のさまざまな地域課題の解決を促進し、地域の活性化および市民サービスの向上を図ることを目指します。

３．協定の主な内容

以下の８分野において業務連携を行います。

（１）戦略的な産業振興に関すること

（２）観光誘客の促進に関すること

（３）活力ある農業の振興に関すること

（４）移住・定住の促進に関すること

（５）地域の人材育成・確保に関すること

（６）結婚・出産・子育ての支援に関すること

（７）安全・安心なまちづくりに関すること

（８）その他両者が協議し合意した事項

４．今後について

損保ジャパンは、今後も三豊市と緊密に連携しながら、各地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。また、地元の保険代理店等とも連携し、全社を挙げて三豊市の地方創生と市民の安心・安全な暮らしの実現に向けて取り組んでまいります。

以上

HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である"火消しの精神"を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。